

| 科目名 Class | 入学年度 Admission Year | 開講学年・学期 School Year, Semester | 単位数 Credit | 必・選 | 授業担当者 Instructor |
|--|---|----------------------------------|---------------|-----|---------------------|
| 簿記Ⅱ | 共通 情報ネットワーク学科 | 1年生・後期 | 2単位 | 選択 | 長友 陸富 |
| 履修の前提条件 | <p>本科目は、前期の必修科目である「会計学入門」、選択科目である「簿記Ⅰ」と3科目一体のため、前期に「会計学入門」と「簿記Ⅰ」の2科目履修をしていることが前提となります(履修規定第5条3項に基づく)。本科目のみの履修は出来ませんので注意してください。また受講にあたっては、「会計学入門」と「簿記Ⅰ」で学習したことをもとに、日本商工会議所主催の検定3級取得を目指します。講義は前期に使用した教科書「スラスラできる日商簿記3級テキスト」「講義ファイル」「電卓」を必ず持参してください。</p> | | | | |
| 授業概要 (Course Outline) | | | | | |
| <p>本講義は、日本商工会議所主催の簿記検定3級の取得を目標としますので、「会計学入門」「簿記Ⅰ」で習得した知識・技能を前提に実際の検定試験の出題形式に則って、テキストの第1問(仕訳問題)、第2問(補助簿など)、第3問(試算表)、第4問(伝票)、第5問(精算表・財務諸表)と授業を進めます。</p> <p>さらに検定前に発行される予想問題集も取り入れて授業を進めます。</p> <p>本講義は、前半は11月に実施される簿記検定に目標を当て、後半は2月の簿記検定に目標を当て、出題の形式に則って講義を進めます。</p> | | | | | |
| 授業を通して修得できる力 (Competency Goals) | | | | | |
| 知識・理解の観点 Knowledge and Understanding | <p>多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture</p> <p>人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature</p> | | | | |
| 汎用的技能の観点 Generic Skills | コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening | | | | ○ |
| | 数量的スキル Mathematics | | | | ○ |
| | 情報リテラシー Information Literacy | | | | |
| | 論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking | | | | |
| | 問題解決力 Problem Solving | | | | ○ |
| 態度・志向性の観点 Personal Qualities | 建学の精神 University Founding Philosophy | | | | |
| | 自己管理能力 Self-management | | | | ○ |
| | チームワーク Teamwork | | | | |
| | リーダーシップ Leadership | | | | ○ |
| | 倫理観 Ethical Sense | | | | ○ |
| | 市民としての社会的責任 Social Responsibility | | | | |
| | 生涯学習力 Lifelong Learning | | | | ○ |
| 到達目標 (Objectives) | | | | | |
| <p>「会計学入門」、「簿記Ⅰ」、「簿記Ⅱ」の履修により日本商工会議所主催の簿記検定3級に全員合格できるように11月、そして2月に受験し合格を目指します。簿記検定の取得(合格)は、継続的に自分でどれだけ多くの問題を解き学習したかにかかっています。(全員受験します)</p> | | | | | |
| 事前学習の内容 | 授業計画を参考にしながら、テキストの次回の指示部分を継続的に予習しておくこと。 | | | | |
| 事後学習の内容 | 毎回の講義で宿題を出します。問題集の宿題範囲を必ず解いて理解を深めてください。わからない箇所があった場合は、かならず授業担当者へ質問すること。 | | | | |
| 能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning) | | | | | |
| 講義中は何度も発問し、対話型の授業を実施します。学生からの積極的な発言、また、授業時の模擬プリントをしっかりと解答し、理解を深めてください。 | | | | | |
| 教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour) | | | | | |
| 連絡、問い合わせ、相談は、授業終了後そのまま教室にて受け付けます。 メールの場合は、nagatomoy@kiis.ac.jpに連絡してください。 | | | | | |
| その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について | | | | | |
| <p>外部試験: 日本商工会議所主催 簿記検定試験3級を受験します。 受験料: 2,570円 試験日: 毎年6月、11月、2月(翌年)の年3回実施しており、11月、2月(翌年)を目標としています。 学習確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し、授業最終日にメールで提出してください。</p> | | | | | |

| 授業計画 (Course Schedule) | | | |
|--|---|---------------|-------------------|
| テーマ Theme | | | |
| 第1回 | オリエンテーション(講義の進め方、講義内容、受講上の諸注意、評価方法など)を確認する。 簿記検定第1問である仕訳問題について演習し、解説を確認する。 | | |
| 第2回 | 簿記検定第2問である補助簿(商品有高帳、売掛金元帳など)の記入、勘定記入などについて演習し、解説を確認する。 | | |
| 第3回 | 簿記検定第3問である試算表問題について演習し、解説を確認する。 | | |
| 第4回 | 簿記検定第3問である試算表問題について演習し、解説を確認する。 | | |
| 第5回 | 簿記検定第4問である伝票会計、決算仕訳、訂正仕訳、勘定記入などについて演習し、解説を確認する。 | | |
| 第6回 | 簿記検定第5問である精算表・財務諸表問題について演習し、解説を確認する。 | | |
| 第7回 | 簿記検定問題第1問から第3問について総合演習を行う。 | | |
| 第8回 | 簿記検定問題第4問から第5問について総合演習を行う。 | | |
| 第9回 | 簿記検定第1問である仕訳問題について演習し、解説を確認する。 | | |
| 第10回 | 簿記検定第2問である補助簿(商品有高帳、売掛金元帳など)の記入、勘定記入などについて演習し、解説を確認する。 | | |
| 第11回 | 簿記検定第3問である試算表問題について演習し、解説を確認する。 | | |
| 第12回 | 簿記検定第4問である伝票会計、決算仕訳、訂正仕訳、勘定記入などについて演習し、解説を確認する。 | | |
| 第13回 | 簿記検定第5問である精算表・財務諸表問題について演習し、解説を確認する。 | | |
| 第14回 | 簿記検定問題第1問から第3問について総合演習を行う。 | | |
| 第15回 | 簿記検定問題第4問から第5問について総合演習を行う。 | | |
| 第16回 | 定期試験 | | |
| 教科書 (Textbooks) | | | |
| 書名 Title | 著者名 Author | 出版社 Publisher | ISBNコード ISBN Code |
| ・第150回をあてるTAC直前予想 日商簿記3級 | TAC株式会社 | TAC出版 | |
| 参考文献 (Reference Books) | | | |
| 書名 Title | 著者名 Author | 出版社 Publisher | ISBNコード ISBN Code |
| 必要に応じて指示します。 | | | |
| 成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation) | | | |
| 定期試験70%、平常点30%(課題、模擬テスト、ポートフォリオ等提出物、授業態度、出欠状況) ただし、「会計学入門」、「簿記Ⅰ」の履修がなければ単位認定は行いません。 | | | |